

会員室

拡大交流委員会

委員長／上原 亮太 副委員長／酒井 美智子 委員会幹事／嶋村 崇
委員／伊藤 政洋 鎌田 篤則 小林 大作 近藤 大己 中澤 里子
山田 信幸 本間 基裕 筒井 章順 松浦 鉄平

1 2015年度拡大交流委員会では、函館青年会議所がこれからも明るい豊かな社会を築
2 く活動をしていく為に、担当委員会は勿論、メンバー一人ひとりが会員拡大の意識を共有
3 し活動する事、またメンバー同士が交流する機会を創出し、友情を育む事で意識を高め活
4 発に活動していけるよう目標に掲げ活動してまいりました。

5 40歳で卒業と決まっている青年会議所では、今年も11人という沢山のメンバーが卒
6 業してしまいます。しかし、我々は地域の為活動していく事は変わらず、会員を増やし、
7 活動をしていかなければなりません。目標に掲げていた入会人数は達成できませんでした
8 が、沢山の協力をいただき18名の新入会員に入会して頂く事ができました。

9 今年度入会した新入会員には、青年会議所の基礎や活動内容を理解した上で、積極的な
10 活動をしていただきたいと考え、オリエンテーションを実施しました。しかし私も含めて
11 まだまだJCの経験の浅い委員会メンバーが多く、自分達も共に学ばせてもらいながら新
12 入会員に伝えるといった形となりました。二回行うオリエンテーションの内どちらか必ず
13 受講して頂く形式をとり、理事長に講話を頂き、理事の皆さんにもオブザーバーで参加し
14 ていただき、青年会議所への思いや熱意を語っていただきました。委員会メンバー、新入
15 会員共に青年会議所としての担いや新たな気づき等、得るものは大きかったと思っていま
16 す。最後に感想をいただき検証した結果、沢山の新入会員から受講してよかったとの意見
17 をいただく事ができました。

18 次に、スポーツ大会ではメンバー同士の交流の場を設けると共に、新入会員がLOMP
19 Rを通じて青年会議所の楽しさや大変さを理解してもらおう事や、同期という大切な仲間が
20 できるよう取り組みました。しかし練習の実施や当日までの流れと、私たちの誘導がうまく
21 できない事から交流の場をうまく作れなかった事もあり、総合優勝には至りませんでした。
22 LOMPRでは新入会員同士、一生懸命取り組み見事優勝という結果を残す事ができ、
23 新入会員の絆をしっかりと築けたのではないかと考えています。

24 2015年度最後となる例会では、これまで活動されてこられた卒業生に敬意を表し感
25 謝の気持ちを伝える事を一番に考え構築しました。新入会員には、やらされる感ではなく、
26 心から感謝を伝える場を考えてもらいました。卒業生とメンバーが、忘れられない思い出
27 となり、卒業生にとっては明日への一歩となって頂いたのではないかと考えています。

28 拡大交流委員会の委員長をやらせていただき、様々な気づき、経験をさせていただきました。
29 その中で一番感じたことは、やはり人と人の繋がりが一番大切なのだと、改めて思
30 い知らされました。

31 最後に沢山のご指導くださいました中山副理事長、竹田室長、陰ながら大変ながらも一
32 生懸命支えてくれた酒井副委員長、拡大交流委員会のメンバーの皆さん、そして今年度入
33 会していただいた新入会員の皆さんに、感謝を込めまして拡大交流委員会の事業報告とさ

